

名前:

私は、インターネットの普及に伴い、「新聞や雑誌はいらない」という意見は極端に感じます。インターネットは世界中のニュースをリアルタイムに見られるという点では、従来の新聞や雑誌では出来なかった情報伝達であるので、インターネットの普及は歓迎すべき事でした。だからといって新聞や雑誌が必要ではないかというと、そうではありません。以下に新聞や雑誌のメリットを挙げていきます。

新聞や雑誌を書面にした場合のメリットは、まず第一に情報の信頼性です。書面が発行されるまでには、出版者を通じ、何人もの職員が情報を集め、証拠を取り、印刷されます。それに引き換え、スポーツ重視のインターネットでは、ネット上の競争により、記事の正確さよりも、どれだけ情報が新しいかを重視します。その一例で、インドネシアの「デティコム」というページは、インドネシアのニュースのみならず、世界のニュースを集め

翻訳し、載せていますが、情報量が多いばかりで、信用性がありません。それに比べ新聞は、長い歴史のせいか、新聞は正しい事を書かなくてはならなければならない存在です。ここに信用性の差が生じます。

そして第二に、書面の方が一般に情報が記憶されると言われていいます。人間の脳というのは、コンピューターのスクリーン上の文字よりも活字に強いようです。それに伴い、物理的にも、インターネットは記事を更新した瞬間以前の情報を消えます。紙に印刷したものは、物としての存在を保たれます。

以上のように書面のメリットを述べたが、インターネットにはそれ自身もメリットが数多くあります。知りたい情報を、短時間で入手できる事や、接続料さえ払ってれば、無料でニュースを知ることが出来ます。消費者の私たちにとって、インターネットの普及は情報源を増やし、より選択の幅を広げてくれる媒体にすぎないのではないかと考えます。

1800字